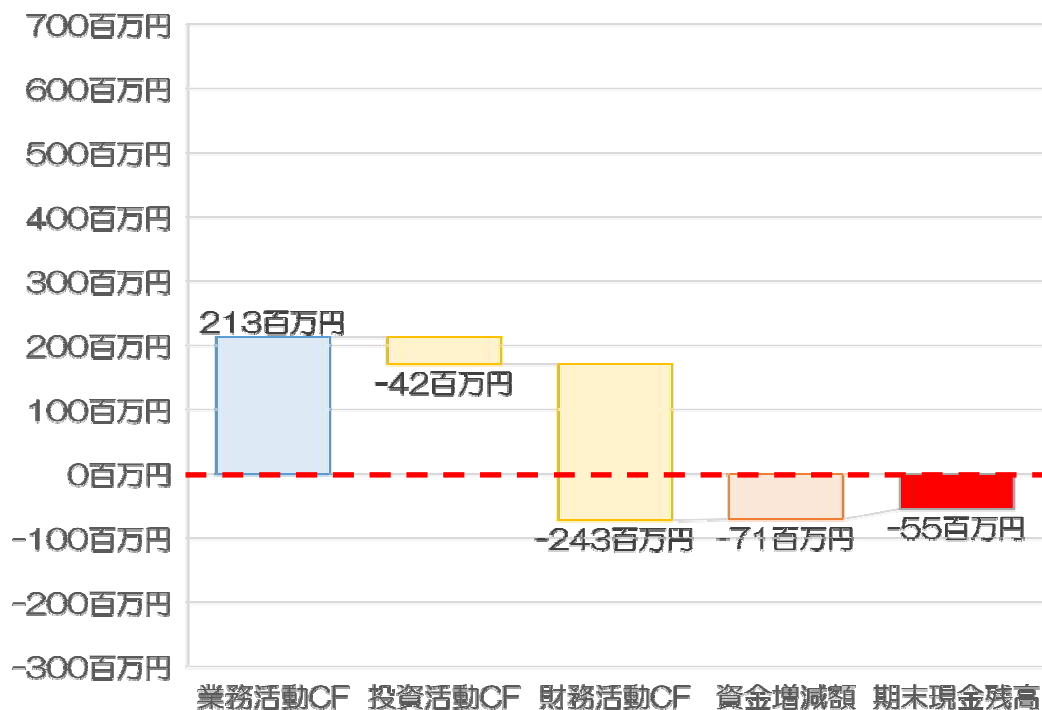
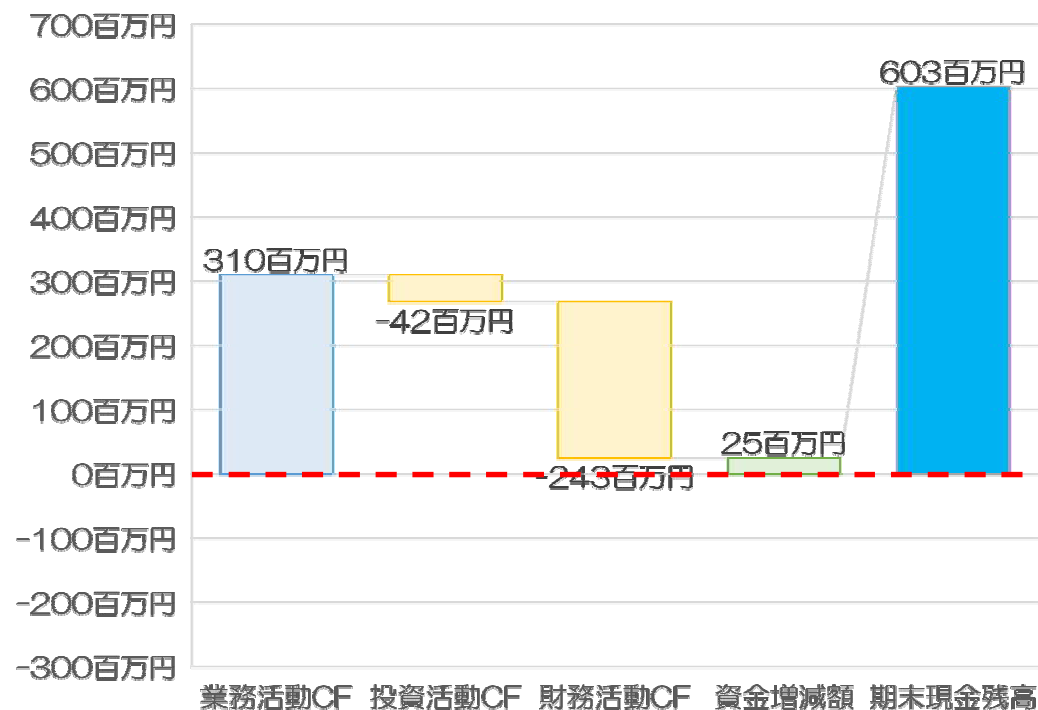


単年キャッシュフロー計算書比較R14年

料金改定なし



改定率20%



料金改定案1の特徴について

- 案1：基本料金1,400円とし、従量料金区分ごとに50円を加算
- 家庭用以外使用者へ集中する。

使用水量	家庭用	家庭用以外	合計
97%	15%	47%	22%
95%	13%	44%	20%

- 調定額全体に占める割合の増減

	家庭用	家庭用以外
増減率	△4.34%	4.34%

料金改定案2の特徴について

- 案2：基本料金1,500円とし、現行従量料金単価に50円を加算
- 家庭用使用者へ集中する。

使用水量	家庭用	家庭用以外	合計
97%	22%	18%	22%
95%	21%	16%	20%

- 調定額全体に占める割合の増減

	家庭用	家庭用以外
増減率	0.72%	△0.72%

料金改定案3の特徴について

- 案3：基本料金1,400円とし、現行従量料金単価に50円を加算
ただし、1~10m³の従量料金単価は60円を加算
- 家庭用使用者へ集中する。

使用水量	家庭用	家庭用以外	合計
97%	25%	12%	25%
95%	23%	16%	22%

- 調定額全体に占める割合の増減

	家庭用	家庭用以外
増減率	1.02%	△1.02%

料金改定案4の特徴について

- 案4：基本料金1,700円とし、現行従量料金単価に30円を加算
- 家庭用使用者へ集中する。

使用水量	家庭用	家庭用以外	合計
97%	28%	12%	25%
95%	27%	9%	23%

- 調定額全体に占める割合の増減

	家庭用	家庭用以外
増減率	2.39%	△2.39%

改定案の評価について

- 各案の改定率による評価
 - 改定率20%以上となっているか。
 - 改定率20%以下では現金残高が目標値に達しないため、対象外として評価している。
- 10~120m³及び各口径の平均使用水量の料金差額による評価
 - 差額降順として△2~2点で採点し、合計及び使用水量が多い水量の合計値で負担大、標準、負担小の3段階で評価している。※採点は“0点”を除く4段階で評価している。

案の選定について

- 改定率20%以上(経常収支：黒字、期末現金残高：5億円以上)

使用水量	案1	案2	案3	案4
97%	22%	24%	24%	25%
95%	20%	22%	22%	23%

- 料金差額の評価(得点順)

得点	案1	案2	案3	案4
使用者負担	△3点	9点	△22点	16点
選定順位	3位	2位	4位	1位